

雑穀類で登録のある農薬適用表

登録内容は2022年9月1日現在

用途	毒劇	RACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率又使用量(10a当り)	適用病害虫	剤型	使用方法	成分名	備考
その他		FRAC M3	キヒゲンR-2フロアブル	播種前	1回	乾燥種子1kg当り原液20ml	カラス、キジ、キジバト、スズメ、ハト、ムクドリ(とうもろこしについてはとうもろこしの適用を参照)	フロアブル	塗沫処理	チウラム	雑穀類(とうもろこしを除く)

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率又使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		11A	サブリナフロアブル	発生初期但し収穫前日まで	—	1,000倍(100~300g)	100ml	アワノメイガ(ひえについてはひえの適用を参照)	フロアブル	散布	BT	雑穀類(ひえを除く)
		11A	トアロー水和剤CT	発生初期但し、収穫前日まで	—	1,000倍(60~150g)	100ml	アワノメイガ(ひえについてはひえの適用を参照)	水和剤	散布	BT	雑穀類(ひえを除く)
		11A	エコマスターBT	発生初期但し、収穫前日まで	—	2,000倍(100~300g)	100g	アワノメイガ(そばについてはそばの適用を参照)	顆粒水和剤	散布	BT	雑穀類(そばを除く)

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
除草剤		ラウンドアップマックスロード	耕起前又は播種前まで(雑草生育期)	2回以内	200~500ml(通常散布50~100g、少量散布25~50g)	一年生雑草(そば、とうもろこしについては作物ごとの適用を参照)	液剤	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩	雑穀類(そば、とうもろこしを除く)

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率又使用量(10a当り)	適用病害虫	剤型	使用方法	成分名	備考
展着剤		ハイテンパワー	—	—	1~2ml/散布液10L(5000~10000倍)	—	—	添加	ポリオキシアルキレン脂肪酸エステル	雑穀類
		ササラ	—	—	3.3~5ml/散布液10L(2000~3000倍)	—	—	添加	ポリオキシエチレンアルキルエーテル	雑穀類

◎野ねずみ対策

薬剤名: Z・P1. 00

適用場所	作物名	使用時期	本剤の使用回数	使用量	使用方法	適用害獣名	総使用回数	備考
農地、山林	野そが加害する農作物等		—	10アール当り、50~200g	本剤を3~5g紙づつみまたはそのままソ穴に投入するか、10a当り10~40か所に適宜配置する	野そ	—	

※ネマモール粒剤30は製造中止のため、在庫限りで終了。

薬剤名: ヤンデオン 劇物

適用場所	作物名	使用時期	本剤の使用回数	使用量	使用方法	適用害獣名	総使用回数	備考
農地	野そが加害する農作物等		—	200~300g/10a	手撒きによる防除 ベイトボックスによる防除	野そ	—	

◎ナメクジ対策

薬剤名: スラゴ

適用場所	作物名	使用時期	本剤の使用回数	使用量	使用方法	適用害虫名	燐酸第二鉄を含む農薬の総使用回数	備考
温室、ハウス、圃場、花壇	ナメクジ類、カタツムリ類、アフリカマイマイ、ヒメリンゴマイマイが加害する農作物等	発生時	—	1~5g/m ²	ナメクジ類、カタツムリ類、アフリカマイマイ、ヒメリンゴマイマイの発生あるいは加害を受けた場所又は株元に配置	ナメクジ類	—	
				3~5g/m ²		カタツムリ類		
				5g/m ²		アフリカマイマイ		
						ヒメリンゴマイマイ		